

令和7年度船橋市国際交流協会第1回総会開催



挨拶をされる来賓 船橋市長 松戸徹様と協会役員

令和7年度船橋市国際交流協会第1回総会が、5月15日午後2時から、船橋商工会議所602会議室で開催されました。

初めに、嘉規洋会長から、6年度の主な周年事業について、姉妹都市オーデンセ市への初訪問に触れた後、約2300人が来場した11月の国際フェスティバル、国際理解セミナー（ウズベキスタン共和国）や2回行われた災害時外国人支援セミナーなどのイベントに加えて、コロナ禍で一時中断していた外国料理教室（コロンビア料理）が再開され、外国人との日帰りバスセミナーも昨年に引き続き（いちご狩り）行われたことが報告されました。さらに「令和7年度はぜひ高校生海外研修派遣を実現したい」と挨拶がありました。

続いて、来賓の松戸徹船橋市長が祝辞を述べられ、ほぼ10年ぶりにオーデンセ市・西安市の姉妹都市・友好都市を訪問できたことに触れ、「子供たちに、様々

な経験をさせることを重視しているようだ。船橋でも、そうした視点を生かしたい」と述べられました。

また松戸市長は、市内の外国人人口が4%にせまる水準にあるとし、「日本は優しかった、良い所だったとの気持ちでお帰りいただければ、今の子供たちが海外に行く時に、将来、大きな力になるのではないか、国際交流協会に対して、今後とも力添え頂きたい」と結ばれました。

この後、議案の審議に入り、令和6年度事業報告、同決算・監査報告、令和7年度事業計画、同収支予算が承認されました。

最後に、船橋市国際交流協会に対して、多大な貢献をされた金子三智子様及び株式会社エステート大蔵様に対して、感謝状の贈呈が行われました。すべての次第を終え、午後3時に閉会となりました。

なお、総会の議事内容は、ホームページに掲載しましたので御覧ください。



感謝状を受ける金子三智子様

令和7年度 会長・副会長・部会長等一覧

会長	嘉 規 洋
副会長／国際化啓発・広報部会長（兼務）	小 田 原 隆 泰
副会長	田 邊 厚 志
副会長／事務局長（兼務）	片 桐 卓
交流・相互理解部会長	椎 名 有 香
外国人支援部会長	浦 和 か ほ る
監事	小 原 智
監事	相 川 和 永

バスセミナー開催



美味しいいちごをお腹いっぱい食べました



3月2日（日）晴天で暖かな1日、絶好のバスセミナー日和となりました。日本人17名、外国人23名、スタッフ3名で、いちご狩りと房総のむらの見学を楽しみました。

朝8時に市役所前に集まり、まずいちご狩りに向かいました。ハウスの中はいちごの良い香りでいっぱい。みんな思い思いに美味しそうな赤い実を摘んで練乳につけて食べました。今年は寒い冬だったので、少し遅れ気味でちょうど収穫のピークだったそうです。美味しい種類を見つけると「こっちは種類は桃のような香りで美味しいよ」とお互いに声を掛け合い、20個、30個と時間いっぱい楽しみました。

次は、道の駅でお弁当を買って、房総のむらへ。日本人と外国人が混ざったグループを作り、グループごとに、手作り体験をしたり、施設を見学して自由に回りました。小さい子どもたちは、忍者のコスプレを借りて楽しそうでした。この日の体験コーナーでは、ミ

ニ樽のキーホルダー作り、和紙のミニノート作り、藁の亀作り、茶の湯体験などができました。皆さんどれか一つは体験できたようです。古墳や土器に興味を持った子もいました。アンケートでは、「グループで回れて交流ができてよかった」「知り合い以外の人と新しく知り合うことができた」など書かれていました。

交流イベントの目的を達成できた企画だったのではないのでしょうか。



広い村をどう回るかまず相談



藁の亀



和紙のミニノートの製本



ミニ樽キーホルダー



かわいい忍者のコスプレ



竹馬に挑戦



風土記の丘資料館で

船橋&ハイワード 姉妹都市バーチャル交流会開催



いのりさんのインタビューに答える市立船橋高校の学生

2月24日(月祝)に、船橋&ハイワード姉妹都市バーチャル交流会が開催されました。第12回目の今回は、市立船橋高校から、ハイワード市のモロー高校へ短期留学プログラムに参加した7名のうち、渡邊一咲さん、西田智紘さん、松井実花さん、大林愛来さんの4名に体験談を聞きました。

まず、渡邊さんからプログラム全体についてのプレゼンテーションがありました。その後、司会の^{いのり} 袴佳子さんの質問に4人が答える形で進められました。質問は6つほど用意されていましたが、特に「留学に参加してよかったこと」には、英語でコミュニケーションが取れるようになった・挑戦意欲が湧いた・文化や習慣の違いをみて視野が広がったなどが挙げられました。「後輩へ言いたいこと」には、チャンスがあれば



モロー高校での生活

モロー高校初日

アメフトの試合

モロー高校での生活を紹介

絶対行くべき・親御さんたちも心配しないで応援してください。と励ましのメッセージが多く聞かれました。

参加者からの質問では、「日本の学校との違い」：教科書を持たない/パソコンでの授業・科目が多く、生徒が教室を移動する/板書を写すのではなく、生徒と先生と一緒に参加する授業など興味深い学校の様子が聞かれました。

最後に、^{いのり} 袴さんから、「帰国の日のエピソード(帰りたくない涙)で良いプログラムだったことがわかる。小さいプログラムですが、混沌とする世界情勢だからこそ若い人たちが交流してお互いの信頼を深めることができる大切で必要なプログラムです。」と締めくくりました。

市立船橋高校フィールドワークを見学

6月18日(水)市立船橋高校普通科国際教養コースの1年生と3年生約60人によるフィールドワークを見学しました。

グループで英語を使って外国人観光客にインタビューすることを通して、積極的にコミュニケーションを取ることが出来るようにするのを目的としたもので、浅草、スカイツリーの2か所に約30人ずつに分かれて行われました。

国際交流協会からは、嘉規会長、片桐事務局長、椎名部会長、浦和部会長が見学しました。生徒たちの活動内容などを見せていただく事を通して、船橋市の多文化共生の取り組みに、市船生の若い力と協会と共に協力できる部分があるのではないかと考え参加しま

した。

最初1年生は恥ずかしそうに話しかけていましたが、3年生のお手本や見守りで、目を輝かせながら積極的に話しかけていくようになりました。「どこから来たの?」「日本の好きなアニメは?」などと声をかけ、画用紙やスマホ、ジュエチャーを使ってコミュニケーションをとると、日本の文化に触れた感想や自国の様子を丁寧に教えてくれていました。インタビューを受けた外国人やその家族みんなが笑顔で市船生に良い印象をもたれていた様子を何度も見る事ができました。生徒の皆さんの表情も明るくなり、見学をしている協会のメンバーにも気さくに話をしてくれました。



浅草で見学する嘉規会長



外国人家族へ明るく声掛けをする生徒たち



外国人の説明を聞く椎名部会長

令和7年度災害時外国人支援サポーター養成講座開催

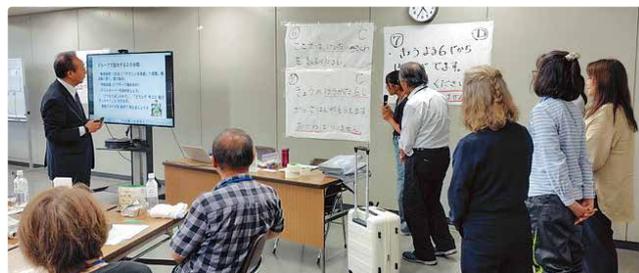
5月17日（土）と5月31日（土）の2回、船橋市役所にて、今年度の災害時外国人支援サポーター養成講座が、講師に一般財団法人国際多文化研修ラボの代表理事で、防災士でもある松本義弘氏を迎えて行われました。

第1回は、船橋市在住の外国人の特性、船橋市国際交流協会との連携、災害時のボランティアに求められる役割等が説明され、続いて外国人に伝える・伝わる「やさしい日本語」の解説と、その活用のための情報トリアージ、日本語読解学習支援システム「リーディングチュウ太」や多言語通訳・翻訳アプリ「VoiceTra」の活用方法などが、実践的に紹介されました。後半は、参加者がグループになり、与えられた2つの課題を「やさしい日本語」に置き変える実戦トレーニングの時間。災害時の避難所の中が想定され、20分の制限時間も課されました。

第2回は、より実践の色彩が濃い内容でした。各人が自身の「避難者登録カード」を書いた後、グループ

の一人が被災した外国人役になり、他のメンバーが避難所巡回レポートを作成し、講師よりコメントをいただきました。実際に避難所が開設された場合、支援サポーターは、避難してきた外国人の方々には「避難による滞在ができること」、また避難所を運営・管理する自治体住民（管理者）の皆様には「支援に来たこと、外国人がいること」などを伝え、情報の共有が大切だと説明されました。

最後に、協会から避難所運営の説明、船橋市危機管理監からのお話があり、2回に渡った養成講座が終了しました。



やさしい日本語に書き換えて発表

お知らせ

「インターナショナルフェスティバル2025」のボランティアを募集します

令和7年10月26日（日） ふなばしアンデルセン公園にて、「インターナショナルフェスティバル2025」を開催します。当日はステージ、模擬店、フリーマーケット、スタンプラリーなどを行います。準備・運営をする実行委員、当日のスタッフボランティアを後日メールマガジン、ホームページで募集します。

外国語講座（10月～12月）対面の募集を開始します

- 各講座10回 定員各講座7名
 - 英語講座 初・中級（日曜日10：00 - 11：30）
 - 中国語講座 初級（木曜日10：00 - 11：30）
 - ベトナム語講座 入門（土曜日 13：30 - 15：00）
- 募集期間：8月10日～9月9日
- 場所：協会サロン（南本町3-9）



申し込みサイト

これから行われるその他の事業

- 外国人向け防災訓練 9月30日（火）
- 日本語学習支援ボランティアフォローアップ研修 12月6日（土）、20日（土）
- 国際理解セミナー スリランカ民主社会主義共和国 2月26日（木）夜 勤労市民センター
- 料理教室（予定）メールマガジン、ホームページで告知
- バスセミナー（予定）メールマガジン、ホームページで告知